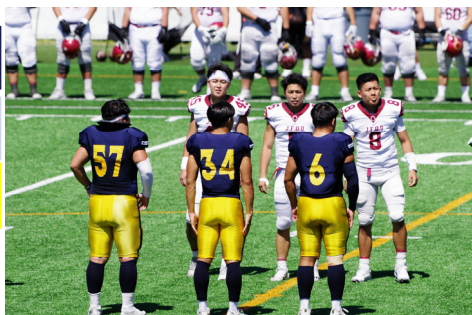


今春、アミノバイタルでの最終戦。相手はTOP8に返り咲いた桜美林大学。

SPRING GAME 5th 2024年6月16日(日)K.O.14:00 アミノバイタルフィールド 天候:晴

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
桜美林THREE NAILS CROWNS	0	0	0	9	9
明治大学 GRIFFINS	7	6	3	0	16



1Q

明治キックで試合開始。

桜美林大の攻撃は大型ラインを揃え、エースQB#8近田のパスと大型RB#45小林のランが中心だが明治セカンダリー陣の素早い集まりでパントに追い込む。

明治のスタートQBは先週に続き#13QB水木(3年生)。

早稲田戦同様 最初のプレーで#3後藤珠(一年生)への鋭いパスをヒットさせるとこの日先発の#21高橋(3年生)と#25井上(4年生)の鋭いランで前進を続ける。

しかし敵陣に入ってから桜美林Dに粘られ、パントとなるが次の桜美林攻撃も、#23斎藤(2年生)の素早いパスカバーでファーストダウンを与えない。

明治2回目の攻撃は #13水木(3年生)が相手のラッシュをかわしながら#89金子(3年生)にパスを通すと

#25井上(4年生)の小気味よいランでゴール前まで進み 最後は#21高橋(3年生)が飛び込み先制タッチダウン！ 7-0とする。





2Q

桜美林大学。

次の攻撃は #8近田からフラットへのパスを多様するが、#7天野(3年生)と#40松田(4年生)の早い上がりでゲインを許さない。自陣に入られてからの4thダウンギャブルもDB陣がしっかりカバーし攻守交代。

明治は、次の攻撃は中央に空いた穴を #25井上(4年生)がスピードで駆け上がり、55ヤードのビッグゲイン！

残り20ヤードとすると、今度は#21高橋(3年生)がサイドライン際を駆け上がり2本目のタッチダウン！TFPキックはブロックされ13-0。

桜美林の攻撃がここから鋭いパス攻撃を展開。

敵陣からジワジワと進められるが、DB LB陣の鋭い集まりでロングゲインは許さない！

ここで相手のパスをLB51館(3年生)がインターセプトに成功。13-0で前半終了。





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度6月号-2-3

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

3Q

明治リターンで後半開始。

後半から入ったRB#5宇野(2年生)が、随所にいいプレーを見せる。

スクリーンパスとスイープからも鋭い上がりを見せ、連続してファーストダウンを更新。

最後は距離のある44ヤードのFGを#4近藤(4年生)がしっかり決め、16-0、とリードを広げる。

その後お互いのディフェンスが踏ん張り16-0のまま最終4Qへ。





4Q

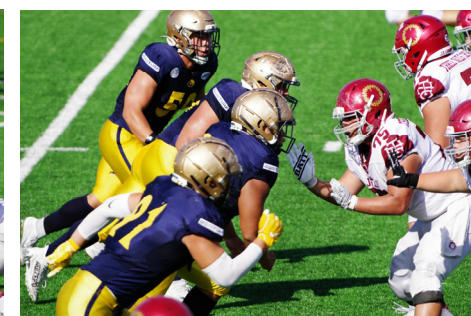
4Qに入り桜美林のパス攻撃がリズムに乗り始め
ゴール前まで攻め込まれると
最後は相手QBがDL陣のラッシュを逃げながらエンド
ゾーン内のWRIにタッチダウンパスをヒット。
16-6 (2点失敗)。

その後の明治攻撃は、リズムの乗れず自陣で
ファンブルし、相手に攻撃権を与えてしまう
悪い流れに、、、。

勢いに乗る桜美林大学に、ゴール前まで攻め込まれ
残り3分でFGを決められる。16-9。

その後の攻撃では、本日試合を通して素晴らしい
ラン攻撃を支えた#21高橋(3年生)と
後半から存在感を発揮した#5宇野(2年生)の
ランで時間を進め。16-9のままゲームセット。

新戦力の活躍もあり、この春2勝目を飾ったものの
後半にミスが目立つ試合となった。





◆桜美林戦を振り返って

桜美林戦にて、幹部を中心に選手、学生スタッフ、コーチ陣にインタビューを実施しコメントを頂きました。
ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。

◆インタビュー #6 主将 深尾 (LB)



■桜美林大学と対戦した印象。

勢いに乗らせると厄介なチームだと感じました。

■試合での、良かったところ。

色々な人にチャンスが回ったこと事です。

■試合での、悪かったところ。

チャンスをものにできた人が少なかった事です。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

西南さんは戦ったことがないチームなので勢いに吞まれないようにしたいと思います。

また、甲子園目指してただやるのみです。

◆インタビュー #34 副将 廣長 (RB)



■桜美林大学と対戦した印象。

昨年TOP8に上がってきた勢いのあるチームの印象でした。

■試合での、良かったところ。

下級生も出場し、秋のシーズンにチャンスが回ってくる可能性が出てきた選手も出てきたところです。

■試合での、悪かったところ。

経験不足の上級生が結果を残しきれなかったところです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

春シーズンの最終戦で、弊部のグラウンドで行える試合です。様々な選手が出場すると思います。内容にこだわる試合にしたいと思います。

また、秋シーズンは春と夏の結果が全て出ると考えています。そのためにもこの夏、全員で日本一に向け一丸となって励んでいきます。

応援よろしくお願ひいたします。

◆インタビュー #57 副将 宮本 (OL)



■桜美林大学と対戦した印象。

DLは結構強いイメージがあり、やられてしまう場面がありました。

■試合での、良かったところ。

自分のパフォーマンスが悪くあまりありませんでした。

■試合での、悪かったところ。

コミュニケーションミスなどがあり、意見の食い違いが起きてしまった事です。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

甲子園ボウルに出るにあたって、倒さないといけな相手なので圧倒したいと思います。

秋シーズンは注目選手として活躍し、日本一の栄冠を奪取できるよう頑張ります。



◆インタビュー #40 松田(4年生)(LB)



■桜美林大学と対戦した印象。

ディフェンスとして、大事な場面でフレッシュを獲得された印象です。

■試合での、良かったところ。

ディフェンスの流れを作るピックプレーが試合のポイントとなる部分で行えたところです。

■試合での、悪かったところ。

相手にテンポを掴まれ、そのままタッチダウンを取られてしまったところです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

春シーズン最後となる試合なので、今までディフェンスとして取り組んできたボールゲットへの意識を前面に出し、完封したいと思います。また、秋シーズンは全勝します。

◆インタビュー #25 副務 井上(4年生)(RB)



■桜美林大学と対戦した印象。

他のチームではあまりやってこない作戦などをしてきて、そこにアジャストするのに時間がかかってしまいました。また、ラインズはサイズも大きかったので、試合経験を積んでこられると厄介な相手になると思いました。

■試合での、良かったところ。

オフェンスとしては、前半ランを中心にドライブして、2本タッチダウンに繋げることができたことが良かったです。自分としても相手セーフティとの一対一に勝ってロングゲインすることができたのが良かったです。

■試合での、悪かったところ。

やはりランだけでは大量得点をするのが難しく、ランとパスをもっとコンスタントに出していくことがまだまだ出来ていませんでした。また、要らない反則もまだ出ていたのかなと思います。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

九州からわざわざ来てくださるということで、恥のない試合運びをしてほしいと思います。また、秋シーズンに向けて、自分はまたリハビリになってしまいましたが、絶対にフィールドに戻って、チームの勝利に貢献できるように頑張るので、応援よろしくお願いします。

◆インタビュー #9 守屋(4年生)(DL)



■桜美林大学と対戦した印象。

特にありませんでした。

■試合での、良かったところ。

未経験の選手、後輩たちを早くから出場させ、試合経験を積みせられた事です。

■試合での、悪かったところ。

出場しているメンツによって、プレーの質に差が出てしまった事です。誰が出ていても、同じクオリティーのプレーを展開できなければ、チーム全体のレベルアップには繋がらないので、しっかりと修正したいと思います。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

西南大はこれまで以上に内容にこだわって試合を進めたいです。また、後輩たちが出場した際には、準備して来たことがしっかりと発揮できた、と感じてもらいたいので、試合までの準備を徹底させたいと思います。秋シーズンでは、「歴代最強」のグリフィンズとして日本一を必ず獲ります。



◆インタビュー #21 高橋(3年生)(RB)



■桜美林大学と対戦した印象。

TOP8に昇格したことも含め、昨年の春よりラインズや個々のパワーが上がっていた印象です。

■試合での、良かったところ。

個人ではショートヤードや取り切るところなど役割を果たせていたところです。

■試合での、悪かったところ。

オフェンスがきつい時や、テンポが悪いときにRBとして引っ張っていく意識や責任、自覚も足りていないところです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

西南が秋前最後の試合になると思うので試合感覚や、不安要素はなるべく潰して、秋に向けてレベルの高い夏を過ごしたいと思います。

◆インタビュー #16 藤川(4年生)(DB)



■桜美林大学と対戦した印象。

本気で明治に勝ちにきている事が物凄く伝わってきました。桜美林オフェンスは虚を衝くプレーなど積極的な攻めの姿勢を崩さない相手でした。

■試合での、良かったところ。

自分含め怪我で離脱していた選手の多くが出場機会を得てアピールできる機会に活躍した選手や秋に向けて収穫を得た選手が多かったです。

■試合での、悪かったところ。

圧倒して勝たなければならない相手に対してワンポゼッション差をあげられなかったところにまだまだ実力不足を感じました。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

春シーズンの一区切りということで、プレーの感覚を元に戻しきることを残りの練習期間から意識して取り組んでいきたいです。秋シーズンでは、ディフェンスを引っ張り一際目立つ選手となりチームの勝利に貢献したいです。

◆インタビュー #13 水木(3年生)(QB)



■桜美林大学と対戦した印象。

DLのラッシュの速さを感じましたし、個々の能力が高いという印象を受けました。

■試合での、良かったところ。

スクランブルやボックス内での動きの中ではしっかり足を使っていた部分と、パスはしっかり投げきれていたと思います。

■試合での、悪かったところ。

QBサックなどフィールド内で相手ディフェンスがよく見れていないプレーが多かったので、ロングドライブの中での冷静さも含めてレベルを上げないといけないと思いました。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

春シーズン中に出た課題を意識して、やり残すことがないように積極的なプレーをします。秋シーズンでは昨年秋より成長した姿を見せたいと思います。



◆インタビュー #93 古本(3年生)(DL)



■桜美林大学と対戦した印象。

オフェンスラインもディフェンスラインも体が大きくて、ヒットの打感が重かったです。

■試合での、良かったところ。

ランチームである桜美林に対してラン平均3.31ydで抑えることができたことです。

■試合での、悪かったところ。

スラッシュがかからなかったこと。周りをもっと見るべきだったところ。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

普段あまり試合に出れない人も多く出場する試合なので、周りへの気配りを欠かせないようにします。また、今季は未だにQBサックがないので思いっきりパスラッシュします。秋シーズンは序盤・中盤・終盤で隙がないようなプレーヤーになります。また、各試合で存在感を出せるように自分の持ち味を活かして頑張ります。

◆インタビュー #51 館(3年生)(LB)



■桜美林大学と対戦した印象。

明治の弱みであり、早稲田戦でもやられた外のランとショートパスを徹底して狙ってくる印象でした。特にQBが動きながらもレシーバーを探しながら空いたところに投げてきてたのでやりづらかったです。

■試合での、良かったところ。

出されたランプレーのアジャストについてピットの中で話して、それを体現して同じプレーが来た時にしっかり止めれたと事と、インターセプトでチームに貢献できたところ。

■試合での、悪かったところ。

パスカバーの面で、崩れたあとのつききりが甘く、QBが投げてからの寄りも遅かったのが悪い点です。また、1対1のタックルを何度か外してしまったのでそこも悪かったところ。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

西南学院戦は、春シーズン最後の試合なので、春シーズン前と比べて自分が成長した部分を出して0点に抑えます。秋シーズンは、LBとして試合に出てチームに貢献したいです。深尾さんと凧斗さんに少しでも近づいて、脅かせる存在になれるように夏で成長します。

◆インタビュー #31 大島(3年生)(DB)



■桜美林大学と対戦した印象。

去年の春戦って、チームとしては勝っているが個人としてはやられたので入りは慎重に行きました。

■試合での、良かったところ。

今までの試合と違ってCBがランに参加しなければいけないアサメントが増えたので、ここまでの春ではなかった経験ができたことです。

■試合での、悪かったところ。

この春通して言えることですが、ランに自分が参加して止めるという意識が全然足りていなかったです。秋にはランに積極的に参加できるようになるための夏を過ごします。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

いよいよ春シーズン最終戦なので最後をチームとしても個人としても良い形で終わりです。今年の春は全試合出場し、経験を積むことができました。この経験を生かして、秋はチームの日本一に貢献したいと思います。



◆インタビュー #5 宇野(2年生)(RB)

◆インタビュー #47 小山田(2年生)(FB)

◆インタビュー #79 島田(2年生)(OL)

◆インタビュー #3 後藤珠(1年生)(RB)



■桜美林大学と対戦した印象。
DLがビデオをで見ていたよりも強いなという印象でした。

■試合での、良かったところ。
自分自身は怪我から復帰して約半年ぶりの試合だったのですが、まずは怪我なく終えられたことが良かったところです。

■試合での、悪かったところ。
外のランの時に視野が狭くなってしまい、空いている穴を走れなかったことと、1対1の場面でしっかり勝負できなかったことです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。
春シーズン最後となる試合なので、今まで西南学院戦は秋シーズンに向けて自分にとってはアピールの場になると思うので、練習から自分の課題と向き合って結果にこだわりプレーし、秋シーズンの試合に絡んでいけるように頑張りたいです。

■桜美林大学と対戦した印象。
スカウティングどうりのスタンスだったので事前に準備していた動きや考え方が上手いって思うようにプレーができた印象です。

■試合での、良かったところ。
練習でやってきたプレーを試合で体現できたことが良かったと思う。またキャッチミスがなかったことも良かったです。

■試合での、悪かったところ。
連続でプレーをして体力的に疲れている時にブロックの精度が落ちてしまったこと。後半になってから桜美林ディフェンスに対してアジャストしてプレーをすることが出来なかったことです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。
春シーズン最後の試合で自分の武器をアピールして、良い形でシーズンを終えたい。秋にスタメンを取れるように自分の弱点や武器を理解して成長していきたいです。

■桜美林大学と対戦した印象。
いつもの練習のフォーメーションで仲間と戦う方が強かった印象です。

■試合での、良かったところ。
普通のできるプレーではなくランが進むプレーに貢献できた良いプレーがあったところです。

■試合での、悪かったところ。
周りを見てないことが何度かあったところです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。
初歩のミスをしないようにするけどチャレンジも恐れずにプレーをするチームにいたくはない存在になって貢献します。

■桜美林大学と対戦した印象。
・基礎が徹底されている印象でした。

■試合での、良かったところ。
フィニッシュにこだわってプレーできたところです。

■試合での、悪かったところ。
ドライブしきれないことが多々あったところです。

■6月30日の西南学院戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。
春シーズン最終戦しっかり勝ち切って良い形で秋シーズンを迎えられるような試合にしたいと思います。秋シーズンに向けてこの夏で必ず強くなります。応援の程よろしくお願ひします。

◆インタビュー 学生アナライジングスタッフの皆様

◆インタビュー 櫻井監督

◆インタビュー 高橋HC

■桜美林大学と対戦した印象。

ODともに、ラインズの選手のサイズが想像以上に大きかった印象です。秋シーズンも戦うことになるので、ライン戦で完封できるよう、夏のトレーニングに励んでいきます。

■試合での、良かったところ。

昨年まで試合経験が少なかった選手や一年生の選手に試合経験を積ませることができたところです。練習と試合は全く違うので春シーズンの段階で試合経験を積ませられた点は大きな成果だったと感じています。

■試合での、悪かったところ。

自滅が多いです。良いリズムで来ていても、自分たちのミスで流れを断ち切ってしまうなど、春シーズンを通してこのようなミスが1本目2本目関係なく起きてしまった点はユニットとしての詰めの甘さを感じました。秋シーズンが始まるまでに突き詰めていく必要があると感じました。

■6月30日の西南学院大学戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

西南学院戦は春シーズン最後の試合になるので、多くのメンバーが出場することになると思います。しかし、春シーズンを通して、結果とその過程にこだわるところは、常に意識し続けていたので、最終戦も継続して全員に意識づけていこうと考えています。春シーズンを通して、選手として・人間として成長した部員が多くいるので、西南学院戦を通して、1人でも多くの選手が成長してくれることを願っています。また、春シーズンを戦っていく中で、多くの課題が浮き彫りになりました。しかしながらそれらをひとつひとつ潰して、個人として・チームとしてレベルを上げていけば必ず日本一に手が届くと確信しています。今年のチームは過去数年の中で一番ポテンシャルが高いと感じます。だからこそ、4年生である我々がどこまで彼らを高いレベルに持っていかれるかが鍵だと考えています。依然険しい道ではあることには変わりはありませんが、清本としては大学4年間の集大成を悔いの残らぬように、チームとしては悲願の日本一を達成できるように、全てを賭けて取り組んでいこうと思います。応援の程よろしく願いいたします。

■桜美林大学と対戦した印象。

高校時代から実績のある主将:QB近田君を中心にアグレッシブなフットボールをするチームであるという印象を持ちました。数年ぶりにTOP8へ再び咲いた桜美林さんとなりますが、TOP8準優勝の実績があるなど組織としての力があるチームであり、秋季リーグ戦においても必ず東京ドームで勝ち切ります。

■試合での、良かったところ。

公式会場での春季オープン戦で勝利、という結果(2勝目)を再度残すことができた点です。秋季リーグ戦が本番で、経験・過程・内容を大切にしている春季オープン戦ではあるものの、一人ひとりの選手及びチームが勝利、という結果を積み上げることの大切さを認識したためです。

■試合での、悪かったところ。

酷暑が予想されていましたが、実際に試合を行う中で、試合開始の笛が鳴ってから試合終了の笛が鳴るまで、部員全員が集中力を継続することができなかった点です。

日々の練習及び一人ひとりの意識・取り組みで、防げるミスが出るが続いているため、秋季リーグ戦も同様の天候もしくはそれ以上になることも考えられるため、言い訳をしない取り組みの意識づけを徹底させます。

■6月30日の西南学院大学戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

深尾組がスタートして、早くも6か月が経ち、春季オープン戦最終戦となります。

また、ホーム八幡山グラウンドでの試合、かつ父母総会から多くの御父母にも観戦いただけると伺っております。日頃より、ご支援及びご声援をいただいている皆様へ感謝の気持ちを持ち、GRIFFINSのフットボールを遂行し続けます。

また、秋シーズンも2か月後に迫ってまいりました。約6か月後に控える甲子園ボウル(全日本大学選手権決勝)に向け、一戦一戦愚直に取り組む、勝利を積み重ねます。引き続き、宜しくお願い致します。

■桜美林大学と対戦した印象。

シンプル且つフィジカルに戦うチームであることを再認識致しました。秋はもっと戦術・フィジカルともに成長してくるであろうと想像します。

■試合での、良かったところ。

これまで余り出場経験がなかった選手を起用できたことです。あとは勝ち切れたことです。

■試合での、悪かったところ。

全体的に浮足立っている感が強かったです。故に、O・D・Kで簡単なミスも多く、締まりがない試合となってしまいました。

■6月30日の西南学院大学戦への意気込みと秋シーズンへの意気込みを一言下さい。

まずは6/30の西南学院大学戦で、多くの選手に出場機会を与え、深尾主将の代が始まって6か月で、個々人の立ち位置をしっかりと認識して欲しいと考えております。その結果こそ、これまでの我々の取り組みの全てであり、7月の試験期間と8月のフットボール漬けの日々の為の準備となります。

秋シーズンは日本一しか目指しておりませんが、まずは厳しい夏を学生と共に乗り越え、初戦に万全の状態で見守る様取り組みますので、引き続きのご支援を何卒宜しくお願い致します。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度6月号-2-11

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆Photo

父母会にて、試合風景を撮影しております。

今回の撮影は近藤さん、加藤さん、高橋さん、桑村さん、大島さん、石川さん、佐尾山さん、島田さん、岩崎さん、の9名の方々にいただきました。皆様、暑い中本当にお疲れ様でした！





明治大学アメリカンフットボール

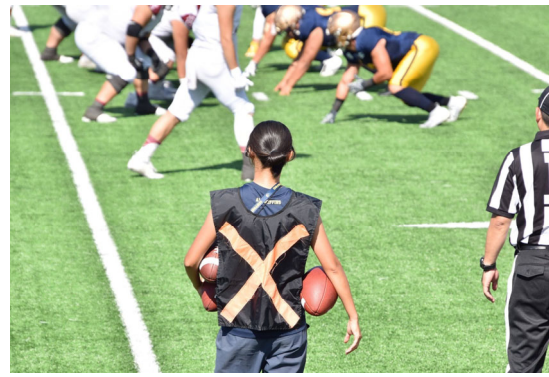
GRIFFINS

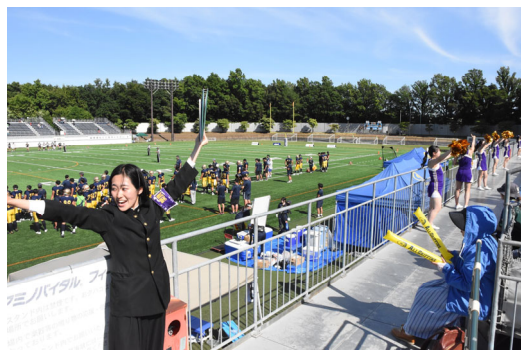


2024年度6月号-2-12

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会







■次戦

2024年6月30日(日) 14:00 八幡山グラウンドで九州勢の西南学院大学との対戦です。この試合にて、**GRIFFINS**は春の試合は最後。これまでの試合結果は5戦中2勝3敗という結果でした。しかしながら **NEW GRIFFINS**は着々と成長しております。ケガ人が多かった春シーズンのGEMEスタートでしたが、下級生、出場機会が少なかった選手達が大活躍をし、選手層の厚さを改めて感じられました。

また、学生スタッフも去年以上に奮闘し、いろんな場面で活躍を見せてくれました。これからは、秋季リーグ戦、全国トーナメント戦に向け夏合宿や個人のスキルUp、メンタルの育成そしてチーム一丸となり全国制覇に向け、この2か月半の期間が**NEW GRIFFINS**にとって、とても貴重な時間になりそうです。

甲子園ボウル優勝を目指して**NEW GRIFFINS**のアメリカンフットボールを

応援していきましょう！

Go ! GRIFFINS.